

日本機械学会 エンジンシステム部門  
九州先進エンジンテクノロジー研究会  
第 26 回研究会 議事録

日 時： 平成 29 年 11 月 27 日(月) 13:30 ~ 15:00  
場 所： 福岡リーセントホテル 2階 クリスタルルーム  
福岡県東区箱崎 2 丁目 5 2 番 1 号 TEL 092-641-7741  
講演題目：「ホンダハイブリッドスーパースポーツカー新型 NSX の技術紹介」  
講 師： 株式会社本田技術研究所 四輪開発センター  
第 1 技術開発室 第 1 ブロック  
主任研究員 (本田 NSX パワートレイン開発責任者)  
坂 本 泰 英 氏

出席者： 委員 8 名，委員以外 32 名 合計 40 名  
出席委員氏名： 北川敏明 (九州大)，渡邊裕章 (九州大)，村瀬英一 (九州大)，  
森上修 (九州大)，永野幸秀 (九州大)，田島博士 (九州大)，島筒修治 (戸畑工  
業高校)，吉山定見 (北九州市大)

講演概要： ヒューマンセンター，ヒューマンオリエンテッドを中心とした走りの喜びという初代 NSX からのヘリテージを引継ぎながら，新開発 V6 3.5L ツインターボエンジンと 9th デュアルクラッチトランスミッションおよびフロント 2，リア 1 の 3 つのモーターを活用した最新ハイブリッド技術を投入した新しい時代のスーパースポーツ New NSX の開発や技術についての紹介があった。パワートレインの低重心化，ツインターボの選択などミッドシップエンジンのレイアウトに関する冷却システムと空力とのバランスなどの説明もあった。ツインモーターによるターボラグの改善効果などハイブリッド化による運転性能や旋回性能の向上についての解説もあった。聴講者からは，ツインターボの必要性について，モーター出力とエンジン出力とのパワーバランスについて，パワートレインなどの開発体制についてなど多岐に亘る質問があり，講師からは詳細な説明があった。さらに，パワートレイン以外でも詳細な衝突シミュレーションなどの紹介もあり，車体構造のアルミ形状や材料などの設計指針や衝突時の電気系統などについて，車づくり全般に対する質問も数多くあった。